

ぎんざんじょうじんじゃ 銀山上神社

神社番号 32 式内社

アクセス 厳原町久根田舎（くねいなか）の久根川沿いに県道24号線が走り、御所橋を渡ると鳥居が見えてきます。

周辺の雰囲気・環境など

厳原町久根田舎は、対馬最高峰・矢立山（649m）を源とし、西海岸の久根浜に流れる久根川中流域に位置する集落です。古名は「大調」（おおつき）で、調（税金の代わりに納める特産品）として朝廷に銀を献上していたことにちなみます。

山に囲まれた静かな農村で、石屋根など伝統的建築物が残るほか、安徳天皇にまつわる伝説があり、山中に宮内庁の御陵墓参考地（P31）があります。



神社のプロフィール

社殿は立派で、苔むした参道が美しく、銀山神社（番号14）とともに式内社「銀山上神社」「銀山神社」の論社とされています。境内に、式内社論社の都々地神社（矢立山遥拝所）があります。



ぎんざんじんじゃ 銀山神社

神社番号 14 式内社

周辺の神社 小茂田濱神社（12）

アクセス 厳原町榎根地区の佐須川と榎根集落の間、ゲートボール場の横に鎮座しています。

神社のプロフィール

式内社「銀山上神社」「銀山神社」の論社です。鎌倉時代の元寇において、元軍の目的は銀鉱山だったとも言われており、佐須地区は大きな被害を受けます。境内に宗家初代・宗助国（P32）の太刀塚があります。

周辺の雰囲気・環境など

厳原町榎根は、佐須川流域に位置する集落で、古代の坑道が残されています。近くには国指定史跡の矢立山古墳群（7世紀後半）があり、鉱山との関係が指摘されています。集落奥の法清寺には、千手観音像や木像仏が安置され、この地が古い時代から栄えていたことを感じさせます。